

## 指定管理業務評価結果書

## 1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	母子生活支援施設 倉敷市鶴心寮
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市栗坂8番地 名称 社会福祉法人 クムレ 代表者 理事長 財前 民男
(3) 公の施設の所管部署	保健福祉局子ども未来部子育て支援課
(4) 評価対象期間	令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

## 2 総合評価結果

(1) 市の評価	<p>指定管理は通算16年目であり、特に問題となるところはなく、引き続き安定した管理運営ができています。</p> <p>今年度は、感染症対策、入所者の自立支援計画の策定、権利擁護に関する取り組みを重視し評価を行った。</p> <p>感染症対策については、手指消毒や換気、施設内の定期的な消毒等、日常的に感染症予防対策が実施できている。共用掲示板で情報提供を行ったり、施設職員から入所者へ施設での感染対策や発熱時の対応について説明が行われ、情報の共有ができています。入所者及び施設職員の検温や体調について毎日記録しており、来寮者についても記録簿で管理できている。また、施設内で感染者が発生した場合も想定し、感染症対応マニュアルの改訂や衛生用品の購入・備蓄等、施設整備にも取り組んでいる。</p> <p>自立支援計画については、入所時に家庭生活、子育て等の目標について「私の未来プラン」を記載し、母子の状況を把握している。アセスメントシートにまとめ、自立へ向けた本人の目標などを確認し、関係機関からの情報を踏まえ策定している。課題解決の進捗度の評価を行い、個別支援計</p>	総合評価
	S	

	<p>画をもとに支援の実行・評価・計画修正を重ねている。入所時から退所後のケアまで継続的に行い、自立に向けて取り組んでいる。</p> <p>権利擁護に関する取り組みについては、社内研修等をとおして、職員の権利擁護意識と実践スキルの底上げの取り組みを行っていた。人権侵害に対する「もしかしてカード」を作成したり、母子へ伝えていくなど、人権に対する意識変容に向けて取り組んでいる。</p> <p>令和3年度は新型コロナウイルス感染症により様々な制限がある中で、できる範囲で施設内行事や地域との交流行事を開催した。地域住民や関係機関と協働しながら、目的をもった計画を立て継続した支援が行われている。</p> <p>また、入所者との面談の際に確認したところ、施設職員による運営及び支援については、満足であるとのことであった。</p> <p>施設退所後も母子が地域で安定した生活が送れるように、今後も引き続き関係機関と連携し、入所者の自立につながる支援に努めていきたい。</p>	
(2) 指定管理者の自己評価	<p>自立支援では、産前産後支援、就労や子育てに寄り添う子育ての合間の休息の支援、地域で暮らす退所者を含む地域支援を重点項目として取り組んだ。母と子が主体的な目標を定め、地域での具体的な生活が段階的に描けるように、福祉事務所、保健師、児童相談所、就労支援事業所等と協働して自立に向けて伴走した。各機関が役割分担を行うことで、課題解決に向けた支援ができた。令和3年度は子育て支援課に許可していただき、空室の一室を利用して補完的保育を試行的に開始した。</p> <p>児童の支援では、コロナ禍で難しいこともあったが自主事業であるおやつ提供を介して子どもとのコミュニケーションを図った。入所世帯の子どものみならず、退所世帯の子どもとの関りがもてた。また、法人で行う公益活動の場に一緒に参加し、配慮された場のなかで人との関わりをもったり、家庭で自分の思いを表出できない子どもが、短時間でも安心して自分の思いを語る場を保障する意図で、子どもと職員の個別の日を実施することにより、自己肯定感の回復へと繋がった。</p> <p>人材育成では、職員各々がキャリアアップの目標に沿って法人内、外部研修に参加した。研修で得た学びは、施設内や、利</p>	

	<p>用者の地域の支え手である法人内の児童家庭支援センターと共有し、「地域における家族支援」「包括的な支援」の視点をもって活かすことができた。</p> <p>施設整備においては、倉敷市が新型コロナウイルス感染症対策で、施設内で感染者が発生した場合に備えて、子育て支援課や法人の助言を受けながら、施設内ゾーニング、防護服着脱のロールプレイを定期的に行い、母子の安心安全な環境づくりに努めた。</p> <p>ボランティアの活用としては、前年度に引き続き、園芸療法士による季節の花や野菜の植え付けを利用者と一緒に行った。また、新型コロナウイルス感染症の地域の状況の合間で、公益活動において学生ボランティアと関わる機会もあり、母と子にとってよいロールモデルとなった。</p> <p>アフターケアでは、アフター支援担当を窓口として地域生活を見据え、関係機関と協働しながら入所中の支援、退所に向けた支援、退所後の支援と、支援の過程を明確にすることにより、入所者や退所者に寄り添いの支援を心がけた。また、法人内児童家庭支援センタークムレと入所中から『地域における家族支援』の視点をもって入所者に関わり、退所後も地域で暮らす退所者を予防的視点をもって支援することができた。</p> <p>その他、地域住民との関わりも、コロナ禍で機会は少なかったが、町内行事（ペタンク大会）への参加、町内会費持参時に交わす地域住民との会話の際に日頃から鶴心寮を見守ってくださる関係性が定着している。</p> <p>また、権利擁護について所内研修で計画的に学びを深め、母子の権利擁護と生活の拠点となり、利用者に伴走する職員同士、お互いの支援観を認め合い、利用者支援の向上を目指し、風通しのよい職場の風土づくりに取り組んだ。</p>
(3) アンケート結果の概要	<p>アンケートとしては実施していない。利用者の自治組織を目指して毎月実施しているママタイム（親の会）、子どもの会で直接意見や要望を聞く機会を設けている。</p> <p>行事等、寮内で行うことについても利用者の意見やアイデアを取り入れて実施している。</p> <p>また、母親、子ども、それぞれに意見箱を設置しており、意見や要望、質問に随時対応している。</p>

## 3 施設の利用状況

(1) 利用実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世帯</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>入寮</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>退寮</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	世帯	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	24	入寮	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	退寮	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計																																											
	世帯	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	24																																											
	入寮	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2																																											
	退寮	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																											
(世帯：各月初日在籍数 入・退寮：当該月中の入・退寮世帯数)																																																									
・入寮状況：入寮 2世帯、退寮 0世帯																																																									
・一時保護実施状況：(県) 0世帯 (市) 4世帯																																																									
(2) 事業の内容	<p>■ 自立支援業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援計画策定・再評価(利用者との面談により実施)</li> <li>・就労支援(情報提供、ハローワーク同行とその間の子の預かり)</li> <li>・生活支援(通院同行、登校支援、各種手続支援、家計管理、買物同行、健康管理等)</li> <li>・子育て支援(養育相談、緊急時や母のストレス軽減目的の子の預かり)</li> <li>・児童への支援(学習支援、遊びの支援、不登校児に対する支援、学校や要保護児童対策地域協議会、法人内との連携)</li> <li>・その他、離婚・DV・家族間の問題に対する支援</li> <li>・アフターケア(行事への招待、来所・電話・訪問等による相談、就学支援、外国籍の方の相談・契約書等の作成、一時預かり等)</li> <li>・臨床心理士によるケース会議、支援方針会議での自立支援へのスーパーバイズ子どもの行動観察</li> </ul> <p>■ 行 事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親の会、子どもの会、災害訓練、児童個別の日(毎月1回)</li> <li>・誕生会(利用者該当月)</li> <li>・寮内健康診断(年2回)</li> <li>・年中行事、親子行事、自然体験、地域との交流行事等</li> </ul> <p>■ 一時保護等事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県委託による緊急一時保護</li> <li>・市委託による緊急一時保護</li> <li>・トワイライトステイ</li> </ul> <p>■ 施設管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・備品等の小修繕等による施設整備及び清掃・除草等による環境整備</li> </ul>																																																								

	・消防設備、非常通報装置等機器及び夜間警備を委託により実施
--	-------------------------------

## 4 収支

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	34,778 千円
	市からの指定管理料（委託料）	33,864 千円
	母子家庭世帯緊急一時保護委託料	178 千円
	社会的養護従事者処遇改善事業委託料	130 千円
	経常経費寄付金収入	46 千円
	退職給付引当金資産取崩収入	392 千円
	その他の収入	168 千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	33,865 千円
	主な支出	人件費 25,643 千円
		光熱水費 861 千円
		施設管理委託費 4,320 千円
		土地建物賃借料 504 千円
		保守料 268 千円
		通信運搬費 370 千円
		事務消耗品 213 千円
		退職給付引当資産支出 467 千円
		その他経費 1,219 千円